



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2015年(平成27年)3月25日号 No.1656

目次

■ 対ロシア制裁下の石油ガス産業	S.サヴシキン 1
■ 『ロシアNIS調査月報』2015年4月号のご紹介	15
■ モスクワほっとニュース	16
番外編:バルト海沿岸、カリーニングラードへ行ってみた / 16	
■ トピックス	17
神戸ビーフをロシアへ初輸出 / 17	
室蘭港埠頭をロシア越冬船にレンタル / 17	
水産総合研、ロシア船に試験販売へ / 17	

対ロシア制裁下の石油ガス産業

はじめに

ロシアNIS貿易会では、ロシア有数のエネルギー専門誌「石油と資本」のセルゲイ・サヴシキン編集長を招き、ロシアにおけるLNGプロジェクトや石油分野の現状について、1月27日に新潟、29日に東京でセミナーを開催した。本速報では両セミナーの概要について紹介する。なお、本文中の地図やグラフはサヴシキン氏がプレゼンテーションの際に用意した資料からの抜粋である。

当会では経済産業省の助成を得て、ロシアを対象とした投資促進事業を実施している。本セミナーはその事業の一環として2015年1月26日～31日に同氏を日本に招聘し、行ったものである。

ウクライナ問題、欧米による制裁、油価の下落、ルーブルの値下がりなどロシアや国際社会を取り巻く状況の影響を受けている石油ガス分野について新潟ではガス、東京では石油に重点を置いた報告が行われ、最新情報満載のプレゼンテーションとなった。

LNGプロジェクト

ガス生産の概要 ロシアの石油ガス分野におけるLNG生産の割合は、決して大きくない。2013年のロシアのガス確認埋蔵量は世界の16.8%、生産量は17.9%を占めたが、LNG生産はわずか4.5%に過ぎなかった。ロシアのLNGが世界に占める割合が小さいことはロシアの資源ポテンシャルに見合ったものではなく、少なくともこの3倍はなくてはならない。

ロシアはソ連時代からパイプラインでのガス輸出に重点を置いてきた。世界初のLNG輸出は当時、世界最大規模であったアルジェリアのハシルメル・ガス田で行われたが、このガスを売るためにはLNGにする以外に方法がなく、アメリカ等の西側の企業にとって大きな賭けであった。